

令和3年7月熱海市豪雨における災害復旧支援活動結果報告

令和3年7月3日熱海市伊豆山地区に土石流が発生し、7月7日に静岡県より静岡県部会に災害対応の支援要請があった。このことについて、以下の内容及び体制で出動した。

1. 被害と支援概要

今回の被害地区は大きく分けて東地区、西地区、土石流の起こった地区に分かれる。

東地区は水中ポンプと仮設管を設置し、使用できるマンホールへポンプアップを行った。

西地区はマンホールから強力吸引車で吸引し下流のマンホールに7月9日から22日まで汚水輸送を行った。その後は仮配管を行い排水した。

土石流の起こった地区は、行方不明の方の捜索やがれき・土砂の撤去作業の進行に合わせて作業を進めていったが、道路の被害がひどいため、強力吸引車等が入る事が困難であった。このような状況の中でも様々な工夫を行うことにより、管きょ清掃や一次調査、二次調査を7月23日～10月15日に実施した。

2. 対策部会長及び前線基地責任者等

対策部会及び部会長：富士ロードサービス 西岡京司（静岡県部会長）

前線基地責任者：（統括） 斎藤組 鈴木浩通

：（副統括） 富士ロードサービス 西岡京司

（副統括） 須山建設 江頭聡

3. 出動会員 8社

斎藤組、富士ロードサービス、
エイコウサービス、
三起クリーン、管清工業、
一紅産業、須走総合企画、
須山建設

4. 災害査定と契約額

10月28日に災害査定を終了し、単費を合わせて
30,140,000円（税込）である。

5. 終了

他工事による本管が敷設されたので、仮配管を本管に接続した事により、令和4年2月10日に全て終了した。

